

重点施策点検・評価表

1 - 1

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る
	担当課（館）
	① 改築や大規模改修等による学校整備計画の推進
	教育総務課
活動内容	<p>小中学校25校中、9割にあたる22校が建設後25年以上を経過し、学校施設の老朽化対策を早急に講じなければならない時期にきている。</p> <p>施設や設備の改修・修繕が必要な箇所は年度の予算要求前に調査をし、小規模から中規模のものは改修内容の分類や必要経費を算出して、危険度などから優先順位を定めて計画的に工事を実施する。大規模改修や建て替えが必要な場合は、国の補助金を活用して実施を検討する。</p>
点検評価	<p>■目標を上回る (達成率100%超) □目標どおり (95~100%) □目標をやや下回る (80~94%) □目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>建築年の古い桂城小・城南小の整備を進めるため「耐力度調査」を実施したが、躯体は健全と判定され、改築ではなく改修により長寿命化を図ることになった。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、小中学校の普通教室及びランチルーム、中学校理科室にエアコンを設置することになり、令和3年7月稼働に向けて工事を進めている。さらには、国の交付金を前倒しで活用し、学校長寿命化改修の一つであるトイレ洋式化工事を小学校3校で令和3年度中に完成させることになり、コロナ禍の中で児童生徒の安全確保と学習環境整備に向けた改修が一気に進んだ。</p>
課題等	<p>学校施設長寿命化計画に基づく大規模改修には多額の費用が必要となるため、文部科学省の交付金を活用しながら、年次計画で着実に進めていく必要がある。今年度、桂城小・城南小で耐力度調査を実施したが、建築年が古く老朽化していると考えられる学校が他にもあることから、整備を計画する都度耐力度調査を実施し、整備方針を決定していかなければならない。</p>
学識経験者等の意見	<p>現在最も対応が求められているコロナ対策のため、急遽エアコンを設置するなど、時を置かず迅速に教育環境の改善が進められている。また、トイレの洋式化工事が決定し、教育環境の整備充実が図られていることを評価したい。</p>
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 学校の維持改修・修繕などの経年劣化対策実施による快適な学習環境の整備
	教育総務課
活動内容	<p>施設や設備の改修・修繕が必要な箇所や、学校・PTA等から要望がある改修箇所は年度の予算要求前に調査をし、小規模から中規模のものは改修内容の分類や必要経費を算出した上で、危険度などから優先順位を定めて計画的に工事を実施する。</p> <p>大規模改修や年次計画による改修工事等を計画する場合は、国の補助金を活用して実施を検討する。</p>
点検評価	<p>□目標を上回る (達成率100%超) ■目標どおり (95~100%) □目標をやや下回る (80~94%) □目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>今年度も、老朽化に伴う突発・緊急的な破損や故障が多数発生したが、直ぐに対応し学校運営に支障を来さないよう速やかに適切な処置を実施した。</p> <p>計画的な改修工事については、優先順位や緊急性を判断し、限られた予算を最大限に活用して施工した。</p>
課題等	<p>経年使用による施設の老朽化が進む中、学校やPTAからの要望件数は増加する一方だが、突発・緊急的な修繕を優先せざるを得ないため、要望案件の解消が追いつかない状況にある。</p> <p>また、各学校では校舎のほかプールの老朽化が進み、破損や故障に対しては随時対応しているが、小学校プールは今後存続させる意向のため、大規模な改修を計画的に進めていく必要がある。</p>
学識経験者等の意見	<p>学校やPTAからの要望は、子どもたちの学習環境に直結する切実な事案であり、そのことに応えている教育委員会は高く評価できる。まだまだ要望は増加すると思われるが、学校・PTAへの説明を尽くしながら引き続き対応をお願いしたい。</p>
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

1-2-1

基本目標		
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実	
重点施策		
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める	担当課（館）
	① 社会教育施設の充実と安全性の確保	教育総務課
活動内容	<p>失立及び比内公民館のエアコン更新や北コミュニティセンターの暖房設備更新は設備稼働時期に間に合うよう完了させる。また、田代公民館越山分館・赤川分館の屋根等改修工事は施設利用者に配慮しながら工事を遅滞なく実施し、地域コミュニティの核となる施設の良い環境を維持する。</p> <p>経年劣化による故障や破損には応急処置などで対応しながら施設の機能維持を図り、速やかに必要な予算を確保して修繕や改修を行い、利用者の安心と安全確保を図る。</p>	
点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>各公民館のエアコン設置及び公民館分館の屋根改修などの社会教育施設の維持改修工事や、女性センターのトイレ洋式化などの改修工事を実施し、利用者の利便性と良好な環境整備の向上に努めた。</p> <p>その他、年度中に発生した緊急工事・補修工事等については、施設の利用に支障を来たさないよう速やかに対応し復旧させた。</p>	
課題等	<p>施設や設備の故障は、休館等の施設利用停止に直結する。</p> <p>これまでは故障や破損などの不具合が発生してから改修する「事後保全」で対応してきているが、今後は点検の強化と不具合が発生する前に改修して突発的な事故を減少させ改修費用を抑制する「観察保全」にシフトしていくことが、長寿命化を図っていく上で重要な課題である。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>公民館のエアコン更新等、年度当初に計画された工事が目標どおり完了し、安心して利用できる環境となった。施設の安全確保のため、「観察保全」の考え方は、実施するに当たって別の困難も予想されるが、是非とも推進していただきたい。</p>	
	② 文化施設、社会教育施設の長寿命化計画の策定	教育総務課
活動内容	<p>大館市個別施設計画では、対象49施設を全て存続するとしているが、約半数は建設後40年を経過しているため、今後の施設整備の基本的方針を定め、改修等により施設の機能を維持しながら長寿命化を図ることを目的とした「長寿命化計画」を策定する。</p>	
点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>各施設の劣化度や過年度の維持管理経費などを調査した上で、令和3年3月に長寿命化計画を策定した。また、ホームページへも掲載して計画の周知を図った。</p>	
課題等	<p>現在使用中の全ての施設は、当分の間活用することとしているが、今後は、施設や設備の老朽化に伴う統合や廃止等を検討しながら施設保有量の最適化を図り、コスト縮減を考慮して改修・解体などを計画的に進めていく必要がある。</p> <p>なお、これらには多額の費用を要するが、老朽化が著しい学校施設についても年次計画で大規模改修を進めていく予定としていることから、社会教育施設整備に対する財源の確保が課題となる。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>計画どおり長寿命化計画が完成できたことは、実態を把握し今後の対応を考える基盤ができたという意味から評価したい。このことを基本に据え、数年先を見通した各施設の在り方を検討しながら、整備充実に結び付けていただきたい。</p>	

重点施策点検・評価表

1-2-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める
	③ ほくしか鹿鳴ホール（大館市民文化会館）から発信する芸術文化鑑賞の充実
	担当課（館） 教育総務課
活動内容	昨年4月から導入したネーミングライツ（施設命名権）により、新たな財源を確保することができた。これらを活用して幅広い年代の市民が楽しめる事業を企画し、芸術文化鑑賞の機会を提供する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 今年度に企画した市主催事業27事業の内、17事業を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、市民等に十分な芸術文化鑑賞の機会を提供することが出来なかった。しかし、年度の後半には、消毒液の配置やサーモグラフィカメラを導入するなど感染症対策を講じて、入場者数も50%に制限しながら、いくつかのコンサートやイベント等を開催することができた。
課題等	当分続くであろうコロナ禍の中においても、感染症対策を講じた上でコンサート等を開催していかなければならない。しかし、入場者規制等を実施しながらの開催は確実に指定管理者の減収が見込まれることから、従来の運営方法を見直し、事業者収入を確保するためのニューノーマルに対応した業務改善を進めていく必要がある。
学識経験者等の意見	令和2年度の特に前半は、コロナ対応への手探り状態が続いたため、各事業の中止を余儀なくされ、残念であった。その中であっても、対策を講じていくつかの事業を開催し、無事にできたことは評価できる。今後の取組に期待したい。
	④ 交流人口拡大に向けたニプロハチ公ドームの活用
	教育総務課
活動内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、貸館利用が激減しているが、収束後の通常利用に備えてイベント関係者などへのドームの魅力発信を継続するとともに、指定管理者及びネーミングライツ・パートナーと連携して、スポーツのみならずさまざまなイベント開催などに活用して交流人口の増加につなげていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 新型コロナウイルス感染症拡大が収束せず、市外からの利用を制限するなどしたことから利用者数の減少が長期に及んだ。 9月には感染予防対策として入口にサーモグラフィカメラを設置し、利用者の安全確保を図りながら徐々に通常通りの貸館を再開したが、例年行われている本場大館きりたんぼまつりや圏域産業祭などの大規模イベントでの利用がなかったため、交流人口の増加につなげることが出来なかった。
課題等	ほくしか鹿鳴ホール同様、当分続くであろうコロナ禍の中において、減少する事業者収入を確保するため、ニューノーマルに対応した業務改善を進めていく必要がある。また、令和4年度には開館35周年を迎えることから、コンサート等の記念イベント開催に向け、年内に事業内容を決定する必要がある。合わせて、かねてから課題となっている音漏れ苦情についても、コンサート等を実施するにあたっては対応策を検討しなければならない。
学識経験者等の意見	全天候対応型のドームとして、その活用が期待されているが、新型コロナ対策のため利用を制限しなくては出来なかったことは残念であった。今後は、これまでの経験を生かし、創意工夫を続けながら交流人口の拡大に結び付けてほしい。

重点施策点検・評価表

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
3	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める
	担当課（館）
	① 教育委員会施策の情報発信の強化
	教育総務課
活動内容	<p>毎月開催する教育委員会会議において、施策やその実施状況の報告等を的確に行い、協議・討議・提案を諮り、議事録をホームページ等で公表する。</p> <p>教育委員会点検・評価の公表や総合教育会議の議事録など、教育委員会の活動を市民及び全国に発信し、教育の産業化構想やおおだて型アクティブラーニングの周知を図るとともに、大館で学ぶ交流人口の拡大に努める。</p> <p>開かれた教育委員会としての透明性を図るため、ホームページの他、定例記者会見や報道機関への取材要請などを活用し、情報発信をより積極的に行う。</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）</p> <p>教育委員会の活動を理解してもらうため、総合教育会議及び教育委員会会議の議事録をホームページに公表し、施策の取り組みの透明化を図った。</p> <p>また、実施事業の客観性を確保するため、学識経験者の知見を活用して教育委員会の重点施策の点検・評価を実施し、その結果を公表して教育委員会が進める大館の教育への理解に努めた。</p> <p>ホームページを活用した施策・事業の周知は、定例記者会見や報道機関への取材要請などで積極的な情報発信に努めたが、新型コロナウイルス感染症拡大によりほとんどの事業が中止となったため、発信機会が大幅に減少した。</p>
課題等	<p>全国から関心を集める大館の教育の理念と実践を、ホームページを活用して全国に情報発信しているが、何よりも市民に一番理解してもらうための周知を図ることが重要である。そのため、市広報や地元紙に教育委員会の取り組みなどを掲載するほか、オンラインなどを活用した情報発信により、大館の教育への理解を得ることが大切である。</p>
学識経験者等の意見	<p>市民へのアンケートの結果では、平均点以上の高い評価を受けていることは日頃の取り組みの成果である。情報の周知に当たっては、情報を伝えたい相手を意識し、その方々に適した方法を工夫しながら教育委員会の施策の理解を促していただきたい。</p>
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）</p>
課題等	<p>取組の方向性</p> <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	